

【地歴・公民】

平成 2 5 年度

指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

教科	世界史 A	単位数	2	学科・学年	3 年全学科	担当者	伊藤浩之 北島亨					
使用教科書	山川出版社『世界の歴史』		副教材	帝国書院『最新世界史図説タペストリー』 山川出版社『世界の歴史ワークノート』								
<p>■到達目標 近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <p>■具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】○定期考査において基礎・基本的内容の定着を図り、授業内容の理解度を評価する。○小プリントやワークノートによる作業的・体験的学習によって、資料活用の技能の向上を目指す。○歴史的史料や副教材の資料から自分の考えを主体的に主張できる力を身につける。○デジタルコンテンツや歴史的史料を積極的に活用し、興味・関心を喚起するとともに、授業の理解を深める。○意欲ある生徒に対しては発展的な課題も提示してさらなる成長を促す。</p> <p>■評価上特に重視する観点○授業態度と課題の提出は特に重視して評価する。また、欠席や忘れ物がないよう各自留意のこと。</p>							評価の重点		関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法								
前 期 中 間	4	[諸地域世界の特質] 東アジア世界・東南アジア世界	○東アジア、特に中国を中心とした各国の交流と文化を理解する。	授業態度 発言の積極性 単元後の小テストなど	◎	○	◎					
	5	西アジア世界 ヨーロッパ世界 [ユーラシアの交流圏] ※以下2つは選択と季節風貿易 ユーラシアの東西交流とモンゴ	○さまざまな世界の文化について興味・関心を持つ。 ○国同士の文化の交流に気づく。 ○ユラシアの独特の文化や風習を理解する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	○	◎ ◎					
	6	ユーラシアの東西交流とモンゴ 東アジア海域の交流と日本 地中海とユーラシア	○日本史・文化との類似や相違を点検し、アジアの特色を理解する。	ノート提出 前期中間考査	◎	○	◎ ◎					
前 期 末	6	[一体化する世界] アジア諸帝国の繁栄	○キリスト教世界に基調を調べる。ヨ一イッスラムの発展を基調とし、その関係性を理解する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	○ ◎					
	7	一体化のはじまりとヨーロッパの主権国家 ヨーロッパ近代の確立	○中世の繁栄が世界にもたらした影響について考える。 ○英仏の3国で起きた市民革命の背景や新しい思想について考察する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	○ ◎					
	8	○産業界の革命的影響について考察する。 ○労働者の思想について考察する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	◎ ◎						
	9		ノート提出 前期末考査	◎	◎	○ ◎						
後 期 中 間	9	アジア諸国の変貌と日本	○ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況について理解する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	○ ◎					
	10	帝国主義時代	○アジアの植民地化・従属化の過程を理解し、日本の対応について考察する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	○ ◎					
	11	[現代世界と日本] 急変する人類社会	○20世紀の文化の特徴について理解する。	授業態度 発言の積極性 ノート提出 後期中間考査	◎	◎	◎ ◎					
学 年 末	11	二つの世界大戦と平和	○二つの大戦の原因・性格・影響を調べ、それが世界にもたらしたものについて考察する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	○ ◎					
	12	米ソ冷戦と世界とアジア・アフリカ諸国	○冷戦や独立運動、民族紛争などの地球上の争いについて考察する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テストなど	◎	◎	○ ◎					
	1	地球社会への歩みと日本 [高校生活のおわりに] 3年間の学習のまとめ	○この3年間を振り返り、日本の役割や、平和を築くことについて考察・発表する。 ○3年間を通じて学んだことをまとめる。	授業態度 発言の積極性 学年末考査 レポート提出	◎	◎	◎ ○					
2												